



国道33号高知西バイパス(天神IC～鎌田IC)開通

昨年12月22日、国道33号高知西バイパス(天神IC～鎌田IC)の開通式ならびに開通記念セレモニーが、国土交通省や地元選出国會議員をはじめ、高知県、町議會議員、地元対策協議会及び関係者の皆さんの出席のもと開催されました。

伊野中学校体育館で開催された開通式では、来賓の方々の祝辞や挨拶、工事経過の報告を受けるとともに、伊野中学校の生徒で波川地区の大久保有基さんがお礼の言葉を述べました。



その後、天神ICで開催された開通記念セレモニーでは伊野中学校吹奏楽部の演奏や、くす玉開披、渡り初めが行われたほか、国道33号整備促進期成同盟会高知県協議会(会長 いの町長)によるもち投げが催され、多くの町民の皆さんと開通を祝いました。

この区間の開通により、仁淀川を挟んだ天神地区と鎌田地区の利便性が向上し、伊野中学校への新たな通学路が整備されました。



地域の農作物に野生鳥獣による被害が増えています

無意識に野生鳥獣への「餌付け」をしていませんか？

野生鳥獣は、里山周辺の高栄養なエサを食べることにより急激に頭数を増やし、より一層エサを求めて作物への被害を拡大します。つまり、エサがあるから頭数が増え、被害を拡げていく悪循環を繰り返しているのです。

例えば、こうしたことが餌付けになっています。



傷んだ果実類の放置



野菜クズの放置



2番稲(ひこばえ)の放置



収穫するつもりのない果樹



防除対策していない果樹



収集時間を無視した生ゴミ出し

■野生鳥獣の密度を減らすのは今(1月～2月の厳冬期)がチャンスです！

自然界では、冬期のエサ不足によって生息数(頭数)のバランスが保たれています。この季節に地域から高栄養な人工のエサをなくし自然のバランスを回復することで、地域内の野生鳥獣を正常な数に減らすことができます。

収穫する予定のない果樹類や果実・野菜クズ、お墓のお供えものや生ゴミなど、野生鳥獣のエサになるものを可能な限りなくして(隠して)悪循環を断ち切りましょう。

収穫する果実類は防鳥網で囲い、残渣類は、土に埋めるかブルーシートなどで覆って野生鳥獣に食べられないようにしましょう。また、2番稲(ひこばえ)の生えた水田も早めに耕耘しましょう。



防鳥網による食害防止対策の様子

問い合わせ 産業経済課・農業委員会事務局 電話 893-1115 / 吾北総合支所産業課 電話 867-2313 / 本川総合支所産業建設課 電話 869-2115